

会議録

会議名	第4回習志野市公共施設躯体活用型建替え及び大久保地区公共施設再生事業手法検討専門委員会
開催日時	平成28年1月20日(水) 10:00~12:00
場所	仮庁舎4階委員会室
出席者	[委員] 習志野市公共施設再生事業手法検討専門委員会 田島委員長、佐々木委員、小松委員、 習志野市公共施設躯体活用型建替え検討専門委員会 湯浅副委員長、遠藤委員、古波津委員 [事務局(財政部 資産管理室 資産管理課)] 吉川室長、江口課長、早川主幹、岡田主幹、青野副主査、濱田主任技師 [事務局支援事業者] 株式会社 日本経済研究所
議事等	1. 開会 2. 議事 報告・審議事項 ・「大久保地区公共施設再生事業に対する提言書(案)」について ・「大久保地区公共施設再生基本計画(案)概要」について 3. その他 4. 閉会

【会議概要】

●議事

(1) 報告・審議事項

・提言書(案)について

事務局より「大久保地区公共施設再生事業に対する提言書(案)」について説明。

・基本計画(案)について

事務局より「大久保地区公共施設再生基本計画(案)概要」について説明。

(2) その他

会議途中に、宮本 泰介 市長が挨拶

委員意見要旨

田島委員長	○全体として議論を知らない人、内容に詳しくない人にもわかりやすい提言書にしていくこととして、建築の専門用語について用語解説をつける、誤解を招きやすい表現を改める等の必要があるが、大きな方向性としては委員会全体の下承を得られたと考えられる。細かい点等について
-------	--

	<p>は委員長に一任されたと考えている。</p> <p>○耐久性については、物理的（耐震、材料等について）、経済的（補修費用等について）、機能的（施設の要求水準等について）な3点から整理できると考えられる。どの耐久性のことを示しているのか明確にした方がいい。</p> <p>○公民館については原点に戻るという記載があるが、主旨を明確にした上で、寺中説については注釈とした方がいい。</p> <p>○事業への市民参加については、提言書の「はじめに」の中で委員長が延べた上で、提言書1ページ目の1において、民間活力導入の主旨やよりよい住民サービスの提供について、2において、市民が参加しやすい仕組み等について等、明確に加筆することとする。</p> <p>○新築・躯体活用型建替えのどちらにしても、これまでの公民館について、市民の記憶の継続性を図れるように何らかの形で何かを残すことを考えてほしい。</p>
湯浅副委員長	<p>○躯体活用型建替については、公民館、図書館、勤労会館、公園とそれぞれの施設についての背景と内容があるので、施設ごとに整理して記載した方がいい。</p> <p>○いくつか表現上で正確に書いた方がいいことがあるので修正した方がいい（具体的に指摘いただく）。</p>
佐々木委員	<p>○SPCに対する市の出資、国の出資、市民の出資などは個別のことではなく両立することとしてわかるように記載してほしい。</p> <p>○事業主体の行動に対してガバナンスを発揮するために公共や市民の出資が有効であることを書いて欲しい。</p>
小松委員	<p>○パブリックマインドと収益性を両立するために、よりガバナンスを利かせる方法として出資という方法がある。</p> <p>○PREについては、民間事業者のその他の事業との事業リスクを切り離すために、PFI事業とは別にSPCを作った方がいいと思う。</p>
遠藤委員	<p>○本事業における収益は民間事業者が得るのか。本事業の目的は、市民サービスの向上である点と理解している。提言には、施設のリースバックについての記載があるが、誰が施設を所有するかという点などについては、比較的市民から意見が出やすい点であるので、記載には留意が必要である。</p>
古波津委員	<p>○委員会ではネガティブな意見もあったが、提言書の印象は異なる点もある。要因としては、意見内容がFACT(事実、わかっていること)、RISK(わかっていないこと)、それに対する見解の3つが混在して集約されていることがあると思う。この3つを分けて整理した方がいい。</p> <p>○ホールについては、図書館・公民館とは別に機能という点から整理した方がいいと思う。</p> <p>○市民が参加しやすい体制づくりを目指すことを入れておいた方がいいと思う。</p> <p>○駐車場、駐輪場については駅利用者の利用と、施設利用者の利用について方針を明確にしておいた方がいいと考える。</p>

●本委員会のご指摘を踏まえて、事務局で提言書を再度、整理した上で、必要に応じて各委員にお諮りし、また委員長に確認をお願いして最終的な提言書にすることとする。

以上